

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース



発行
(財) 第五福竜丸平和協会
〒136-0081 東京都江東区
夢の島3-2
都立第五福竜丸展示館内
電話 03-3521-8494

第五福竜丸元乗組員小塚博さんの支援を

埋田昇一

今年は、ビキニ水爆被災事件の四十
五周年にあたります。

久保山愛吉さんご命日にあたる九
月二十三日には、今年も三・一ビキニ
デー静岡県実行委員会が主催する「九.
二三故久保山愛吉氏墓参追悼焼津行
動」が行なわれます。

JR焼津駅から出発する献花墓参行
進と弘徳院の久保山愛吉の墓前で行な
われる「墓前の誓いのつどい」では、数
年前から久保山愛吉さんをはじめすで
に亡くなられた十一名の第五福竜丸乗
組員の死を、さらに全国のビキニ水爆
被災者の死を悼みつつといを持つこ
とにしています。

今年の「九・二三焼津行動」は、核兵器
のない二十一世紀をめざして大きな成
功をおさめた原水爆禁止九九年世界大
会の国際会議宣言をはじめ採択された
諸決議実践の県下初の集会として開催
し、明年的二〇〇〇年三・一ビキニデー
成功的展望をきりひらく行動として開
催されます。同時に今年の「焼津行動」
では、ビキニ水爆被災事件後放置され
てきた第五福竜丸元乗組員小塚博さん

の「船員保険医療費再適用申請」運動の
前進を起点としてビキニ被災者の援護
措置実現の運動を大きく発展させる契
機となる集会として開催されます。

亡くなった第五福竜丸元乗組員は、
ほとんど全員が肝臓ガンなどの肝臓
疾患で亡くなっています。小塚さんをふ
くむ生存中の元乗組員十二名の大多
数が被爆後の入院中の輸血が原因の
C型肝炎に感染し、不安な日々を送っ
ています。日本政府は、ビキニ事件に
よって巻き起こった原水爆禁止の世
論の国民的な高まりを鎮静化させよう
として、アメリカ政府の水爆実験に
よる被害補償の法的責任を不問にして、
乗組員の合意もないままに追加の補
償を放棄する「政治決着」をはかりま
した。

第五福竜丸乗組員たちは、遠洋漁業
の漁師として生きる夢を断たれると
ともに、放射線被爆による人体への被
害、急性放射能症の時期に受けた輸血
による被害、そして被爆の後遺障害に
による被害を一切閉ざされたとい
う人権への被害の三つの苦難を背負

つていています。第五福竜丸の乗組員たち

は、明らかに原水爆の被害者でありなが

ら、広島・長崎の被爆者が不十分ながら

も受けている援護措置を全く受けら

れないでいます。

小塚さんは、昨年九月、最低限の医

療保障として「船員保険職務上療養給付

の再適用申請」を静岡県に提出しました

が、今年一月被災当時の傷病は小塚さん

が昭和三十二年三月の時点で再び漁師

として就労しているので、「社会通念上

治癒した」として不承認処分を通知して

きました。小塚さんはこの決定を不服と

ひきこまれるように聞き、大石さ

んを激励し慰労するように「懇親

のメダルが贈られました。

被曝海図垂直に起ち秋暑の胸

かけつけた大石又七さんの話を

ひきこまれるように聞き、大石さ

んを激励し慰労するように「懇親

のメダルが贈られました。

た。三十人近い若者たちが集い、

合唱も、雨宿すみえさんほかのバイ

オリンに合わせての独唱もあり、ブ

ログラムは午前午後二回五時間余に

およぶ豊かさ。日本こどもを守る会

中村博さんの名司会で会は拍手にあ

ふれ、展示館を訪れた家族連れや若

者も熱心に聴き入りました。

西日に船が輝くよう色付きはじめ

るころ、松島よしおさん・花岡かよ

子さんほかバンドのメンバーのギ

ター、マンドリン、ホルンなどの演

奏と歌がはじまり、船に染み込んで

いくかのような音色にみんな時間を

忘れ、ききほれました。

西日に船が輝くよう色付きはじめ

るころ、松島よしおさん・花岡かよ

子さんほかバンドのメンバーのギ

(紹介) 愛知県立田中学校の修学旅行体験記から

修学旅行の二日間、この少年少女らはひたすら東京の街を歩き、人々に接し、見聞し考え、その全身で何かをつかみとった――そんな思いのする「体験記」が新学期むになつて送られてきた。毎年六月、展示館を訪れる愛知県海部郡立田村の立田中学校三年生(約一三〇名)。(貞吉参考依存)東京を歩く、其生の社会

生（経一二三の行）一頁見假り旅行、東京を歩き、其の機会をも
として努力する人々に学ぶ」と題したA4判横綴一六〇頁の冊子
は、生徒一人ひとりのかざり気のないありのままの感想にあふれ、
豊かな実りが育っていることを感じさせた。なにより歩いたコースの
多様さと訪問した所の新鮮さに驚かされたが、私たちが忘れていた大事なもの改めてつきつけられた感があった。感想文の紹介に
先立ち、今回はそのコースと訪問先を紹介したい。

—展示館を訪れた六人の少年少女はいくつかの質問を用意してきました（別項下段）。そして驚くほどに静かで礼儀正しかった。少し心配になつて「この大きな船は人類の未来を示しています。みなさんの手で触れて、船に内包されるメッセージ、乗っていた漁師さんの悲しみと怒り、船を守り、原水爆のない未来（活動する人々の熱烈な意思をつかまえてほしい」と「注文」した。思想文は船に触れる意味を解し驚きがにじんでいたが、佗美昌代さんは、こんな一文を記した。

私は今まで戦争と聞いても、やってはいけないこと、ということをくらいしか考えていませんでした。ましてや核兵器の怖さなんて考えたこともありませんでした。福竜丸のことも授業で習つたらしく、全然その事件にあつた人達のことなど気にもしていませんで

●展示館訪問の感想文

を歩く
新橋駅—銀座—歌舞伎座—築地
魚市場—聖路加ガーデン—佃島—
日本橋—日本銀行—問屋街—十思
公園—浅草橋—雷門—浅草仲見世
—アメ横—上野駅
▼3コース＝文化の中心と江戸の面影を歩く
御徒町駅—不忍池—東京大学—
湯島天神—神田明神ニコライ堂—
お茶の水（楽器店）—秋葉原

▼1コース—日本の核心部と国際的な街を歩く
飯田橋駅—武道館—北の丸公園—科学技術館—皇居—霞ヶ関官厅街—アメリカ大使館—スペイン大使館—スウェーデン大使館—六本木—麻布十番—有栖川宮記念公園—恵比寿ガーデンプレイス—恵比寿駅

した。しかし、実際「第五福竜丸展示館」へ行ってみて私は驚かされることばかりでした。

私達にお話してくださった※さんは、とても第五福竜丸とその展示館を大切にしていらっしゃいました。そして、まるで自分がその時そこにいたのかというくらい事件のことすごくよく知つていらっしゃいました。私は展示館に飾つてある写真の中で一枚の写真がとても印象に残っています。それは第五福竜丸事件のときには被害を受け亡くなつた久保山愛吉さんという方のお葬式の様子の写真です。その写真には、三人のちゃんと娘の子が写つていて、そのうちの一人の子が愛吉さんの写真をもつて大きな声を出して（見た感じ）泣いている写真です。私はこの写真を訪問する前のパンフレットで見たことがあつたけれど、実際に第五福竜丸を見てみると、なんだかすごく胸につきさ

品川プリンスホテル・泉岳寺駅
慶應義塾大学・田町駅・新宿駅
新宿副都心・神宮外苑・絵画館
体育館・国立競技場・原宿・竹下
通り・表参道・明治神宮・NHK
一公園通り・道玄坂ハチ公前・浅
谷駅

▼6:ース=臨海副都心と下町
をくらべて歩く

田町駅・レインボープリッジ
第三台場史跡公園・お台場海浜公園
園・臨海副都心・フジテレビ・プラ
ロムナ・ト・国際展示場・ゆりか
もめ一日の出桟橋・水上バス・浅
草・問屋街・東京都慰靈堂・両国
国技館・回向院・秋葉原駅

●共生の社会めざして努力す
る人々に学ぶ体験学習

一修学旅行二日目、二十四の
班は都内二十三の職場を訪問「一
線の人の話を直接聞き考える」こ

●共生の概念めざして る人々に学ぶ体験学習

品川プリンスホテル・泉岳寺
慶應義塾大学—田町駅—新宿駅—
新宿副都心—神宮外苑—絵画館
体育館—国立競技場—原宿—竹下
通り—表参道—明治神宮—NHK
—公園通り—道玄坂ハチ公前—涉
谷駅

▼6：ース＝臨海副都心と下町
をくらべて歩く

田町駅—レインボーブリッジ—
第三台場史跡公園—お台場海浜公園
—臨海副都心—フジテレビ—プラ
ロムナ、ド—国際展示場—ゆりか
もめ一日の出稼橋—水上バス—浅
草—問屋街—東京都慰靈堂—両国
国技館—回向院—秋葉原駅

「第五福竜丸」はとても幸せだ
と思いました。この訪問で私は言
葉に表せられないくらいたくさん
のことを学びました。

私はこの写真を見ただけで、な
んだか核兵器がすごく怖いものだ
と思えてきました。また、こんな
愛吉さんみたいな家族がほかにも
たくさんいると思うと、すごく悲
しくなってきました。核兵器は罪
のない人々を意味もなく殺してし
まうものだと思うと、すごく恐怖
におそわれました。

※さんは最後に私たちに「僕た
ちが核兵器をやめようと努力する
のは、私たちだけのためじゃな
く、その核兵器を持つている国の人々
を助けることにもなるんだ」とおっしゃつてくださいました。

私は※さんはすごい人だなと思いま
した。本当に今の自分の仕事に
ほこりをもつてゐる人だなと思いま
した。

との大切さ

⑪韓国大使館||友好を築く過去から未来へ歴史をしつかり学ぶことの大切さ

⑫第五福竜丸展示館||過去に学ぶことの大切さ

⑥長寿社会文化協会＝器具を付けてお年寄りの五感を体験－相手を知り、相手を尊重して接することが大切

⑦全日本手をつなぐ育成会＝障害者の生き方から、間を学ぶ－きちんと知ることの大切さ

⑧在宅介護サービスこぶしの会＝在宅介護サービスを通して人間を考える－生かし、生かされる仕事をのすばらしさを知った

▼地球共存を自分の問題として考える

(23) 国立劇場養成所＝歌舞伎俳優を目指す若者と伝統芸能－見るものを探し、楽しめるさまざまな工夫へ参考▽●展示館に用意された
きた「質問」

①被曝したときの辺りの様子は
②被曝と気づいたときの国民の行動は
③毎年三月一日には何かして
いるか
④国の指定区外で操業して
いたとあったがなぜか
⑤急性放射能症とは
⑥今何のためにどんな活動をして
いるか
⑦活動が始まったきっかけは
⑧今までよかつたと思
うことは
⑨これはだめだったと思
うことは
⑩どんな問題があり解決して
きていたか
⑪現在の問題をどう解
決していくか
⑫日本はどう
う変ってきたと思うか
⑬日本はどう
のように変わっていくと思うか。

(2) 岡本太郎記念館 || 岡本太郎が
残したメッセージーものごとを素
直に見ることの大切さ

(22) 東京国立文化財団研究所 || 文

⑥長寿社会文化協会＝器具を付けてお年寄りの五感を体験－相手を知り、相手を尊重して接するこ^とが大切

⑦全日本手をつなぐ育成会＝障害者の生き方から、間を学ぶ－き
ちんとることの大切さ

⑧在宅介護サービスこぶしの会
＝在宅介護サービスを通して人間を考へる－生かし、生かされる仕事のすばらしさを知った

▼地球共存を自分の問題として考へる

⑨中国大使館＝友好を築く過去から未来へ歴史をつづける学ぶこ

▼社会文化を自分の問題として考へる

力する中小企業を学ぶ

⑩ジオ・サーチ＝戦禍の人々を救う地雷探知機の開発－世界に埋められている地雷の数は二億個

⑪小原工業＝ハンディを越えて生きる希望・義肢製作－義手や義足で生きる希望

⑫日進精機＝真似できない反射鏡の金型技術の開発－精密な機械を生み出すのは、より精密な金型

▼文化を自分の問題として考へる

紹介 愛知県立田中学校の修学旅行体験記から

修学旅行の二日間、この少年少女らはひたすら東京の街を歩き、人々に接し、見聞し考え方、その全身で何かをつかみとった——そんな思いのする「体験記」が新学期むになつて送られてきた。

毎年六月、展示館を訪れる愛知県海部郡立田村の立田中学校三年生（約一三〇名）。「東京修学旅行」——東京を歩く、共生の社会めざして努力する人々に学ぶ」と題したA4判横綴一六〇頁の冊子は、生徒一人ひとりのかぎり気のないありのままの感想にあふれ、豊かな実りが育つてることを感じさせた。なにより歩いたコースの多様さと訪問した所の新鮮さに驚かされたが、私たちが忘れていた大事なものを改めてつきつけられた感があつた。感想文の紹介に先立ち、今回はそのコースと訪問先を紹介したい。

● 東京を歩く

修学旅行二日目、六人の班、計二十四班は、一日中、次の六コマスをそれぞれ歩いた。アメリカ大使館では警備の人と写真をとり、

吉田松陰のお墓をさがし、おそれおぞる竹下通りを歩き、築地本願寺でXJAPANのhideさんにメッセージを書き、東京都慰靈堂に韓国人の慰靈碑をさがし……と、体験記も綴られるが、人々のやしさと親切さに感謝している様子にひたむきさが感じられた。

▼1 コース=日本の核心部と国際的な街を歩く

飯田橋駅—武道館—北の丸公園—科学技術館—皇居—霞ヶ関官庁

—街—アメリカ大使館—スペイン大使館—スウェーデン大使館—六本木—麻布十番—有栖川宮記念公園

—恵比寿ガーデンプレイス—恵比寿駅

▼2 コース=経済の中心と下町を歩く

新橋駅—銀座—歌舞伎座—築地魚市場—聖路加ガーデン—佃島—日本橋—日本銀行—問屋街—十思公園—浅草橋—雷門—浅草仲見世

—アメ横—上野駅

▼3 コース=文化の中心と江戸の面影を歩く

御徒町駅—不忍池—東京大学—湯島天神—神田明神—ニコライ堂

—お茶の水（楽器店）—秋葉原

—展示館を訪れた六人の少年少女はいくつつかの質問を用意してきました（別項下段）。そして驚くほどに静かで礼儀正しかった。少し心配になつて、「この大きな船は人類の未来を示しています。みんなの手で触れて、船に内包されるメッセージをつかまえてほしい」と「注文」した。感想文は船に触れる意味を解し驚きがにじんでいたが、佗美昌代さんは、こんな一文を記した。

私は今まで戦争と聞いても、やつてはいけないこと、ということがくらいしか考えていませんでした。ましてや核兵器の怖さなんないことなど気にもしていませんで

福竜丸のことも授業で習つたくらいで、全然その事件にあつた人達

考えたこともありませんでした。

—電気街—すずらん通り—神田古書店街—上野公園—寛永寺—谷中一千駄木—日暮里駅

▼4 コース=都心と副都心結ぶ谷を歩く

水道橋—東京ドーム—護国寺（大隅重信野の墓）—雑司ヶ谷靈園（漱石の墓）—サンシャインシティ—鬼子母神—神田川—甘泉公園（堀部安兵衛の碑）—早稲田大学（演劇博物館）—新宿—都庁—住友・NSビル—新宿駅

▼5 コース=若者の町を歩く品川プリンスホテル—泉岳寺—新宿副都心—神宮外苑—絵画館

慶應義塾大学—田町駅—新宿駅—新宿副都心—神宮外苑—絵画館

体育館—国立競技場—原宿—竹下通り—表参道—明治神宮—NHK

—公園通り—道玄坂ハチ公前—涉谷駅

▼6 =コース=臨海副都心と下町をくらべて歩く

田町駅—レインボーブリッジ—第三台場史跡公園—お台場海滨公園—臨海副都心—フジテレビ—プロムナード—国際展示場—ゆりかもめ—日の出桟橋—水上バス—浅草—問屋街—東京都慰靈堂—両国

国技館—回向院—秋葉原駅

▼7 コース=文化の中心と江戸の面影を歩く

御徒町駅—不忍池—東京大学—湯島天神—神田明神—ニコライ堂

—お茶の水（楽器店）—秋葉原

—展示館を訪れた六人の少年少女はいくつつかの質問を用意してきました（別項下段）。そして驚くほどに静かで礼儀正しかった。少し心配になつて、「この大きな船は人類の未来を示しています。みんなの手で触れて、船に内包されるメッセージをつかまえてほしい」と「注文」した。感想文は船に触れる意味を解し驚きがにじんでいたが、佗美昌代さんは、こんな一文を記した。

私は今まで戦争と聞いても、やつてはいけないこと、ということがくらいしか考えていませんでした。ましてや核兵器の怖さなんのことなど気にもしていませんで

福竜丸のことも授業で習つたくらいで、全然その事件にあつた人達

考えたこともありませんでした。

—展示館訪問の感想文

私は今まで戦争と聞いても、やつてはいけないこと、ということがくらいしか考えていませんでした。ましてや核兵器の怖さなんのことなど気にもしていませんで

福竜丸のことも授業で習つたくらいで、全然その事件にあつた人達

考えたこともありませんでした。

私は今まで戦争と聞いても、やつてはいけないこと、ということがくらいしか考えていませんでした。ましてや核兵器の怖さなんのことなど気にもしていませんで

とになった。

訪問先は一見賑絡がないようだが太い背骨が一本入っている。感想文は新鮮な驚きと自らの将来をさぐるさわやかさがつづられる。

第五福竜丸展示館も訪問地の一つとなつた。

▼地球環境問題を自分の問題として考える

①墨田区役所＝区役所と住民が進める雨水利用——一人ひとりが資源を生かすことをやっていこう。

②せたがや環境フォーラム＝住民と区役所が協力する川の浄化——自然を守る——自然を守ることが結果として都市を守る

④環境ジャーナリスト中村正子さん＝資源をゴミにしない考え方

⑤鹿島建設技術研究所＝不要になつたものを生かす幅広い研究——不要になつたものを生かすことが地球を守る

▼人権と福祉を自分の問題として考える

⑥長寿社会文化協会＝器具を付けてお年寄りの五感を体験——相手を知り、相手を尊重して接することが大切

⑦全日本手をつなぐ育成会＝障害者の生き方から、間を学ぶ——きちんと知ることの大切さ

⑧在宅介護サービスこふしの会＝在宅介護サービスを通して人間を考える——生かし、生かされる仕事をのすばらしさを知った

▼地球共存を自分の問題として考える

⑨中国大使館＝友好を築く過去から未来——歴史をしつかり学ぶことの大切さ

⑩韓国大使館＝友好を築く過去から未来——歴史をしつかり学ぶことの大切さ

⑪第五福竜丸展示館＝過去に学ぶものがありました。

私はこの写真を見ただけで、なんだか核兵器がすごく怖いものだと思えてきました。また、こんな愛吉さんみたいな家族がほかにもたくさんいると思うと、すごく悲しくなってきました。核兵器は罪のない人々を意味もなく殺していました。核兵器は罪のない人々を助けることもなるんだ」とおっしゃってくださいました。私は※さんはすごい人だなと思いました。本当に今の自分の仕事にほっこりをもつていてる人だなと思いました。

「第五福竜丸」はとても幸せだと思いました。この訪問で私は言葉に表せられないくらいたくさんのこと学びました。

訪問先は平和な未来を作っていく

⑫国際協力事業団ジャイカ＝日本と途上国のつながり——途上国からたくさん輸入、日本と世界はつながっている

⑯海外援助をする日本財团＝幸せを作るパイプ役——人の幸せは関係で成り立っている、関係を積極的に作っていく

▼二十一世紀への技術、その発想に学ぶ

⑭東京大学農学部研究室＝環境と体に害の少ない作物を育てる農業——環境に優しく、無害に近い自然の農業の研究

⑮全日空機体センター＝飛行機の安全を支える技術とこころーたくさんの人の努力で飛行機は空を飛べる

⑯出光興産＝自然の生命力を生かした農薬の研究——地球環境を壊さない生物農薬

⑰日立中央研究所＝環境を守り社会に貢献する技術の開発——最先端の技術から自分の将来の生き方を知る

▼二十一世紀への技術革命に努力する中小企業を学ぶ

⑱ジオ・サーチ＝戦禍の人々を救う地雷探知機の開発——世界に埋められている地雷の数は二億個

⑲小原工業＝ハンディを越えて生きる希望・義肢製作——義手や義足で生きる希望

⑳日進精機＝真似できない反射鏡の金型技術の開発——精密な機械を生み出すのは、より精密な金型

㉑東京国立文化財団研究所＝文化財を伝える意味と保存の技術——直に見ることの大切さ

㉒国立劇場養成所＝歌舞伎俳優を目指す若者と伝統芸能——見るものをお楽しみさせるさまざまな工夫

ヘ参考／●展示館に用意された「質問」

①被曝したときの辺りの様子は②被曝と気づいたときの国民の行動は③毎年三月一日には何かしているか④国の指定区外で操業していたとあつたがなぜか⑤急性放射能症とは⑥今何のためにどんな活動をしているか⑦活動が始まつたきっかけは⑧今までよかつたと思うことは⑨これはめだつたと思ってきたか⑩現在の問題をどう解決していくか⑪と思うか⑫日本はどう変ってきたと思うか⑬日本はどういうふうに変わっていくと思うか。